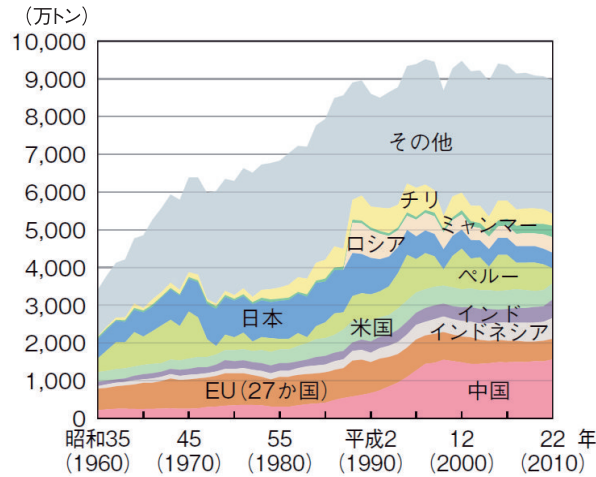


3. 世界の資源状況

世界の漁業生産量

- ・世界の水産物需要が大きく増加する反面、世界の漁業生産量は、1980年代後半以降以降頭打ちの状態となっています

●世界の漁業生産量の推移（国別）

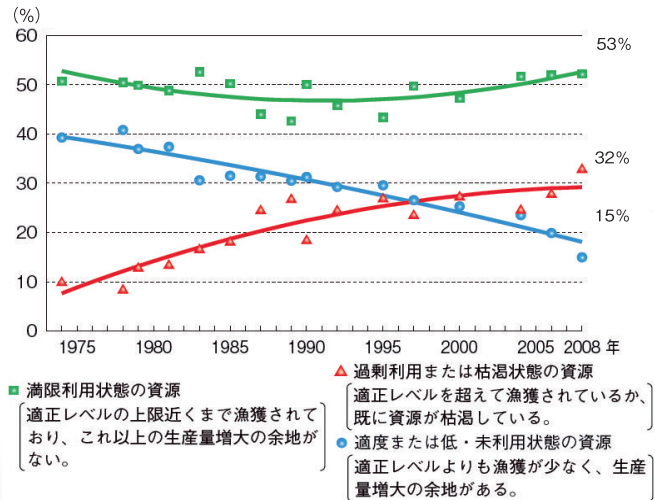


(水産庁平成23年度水産白書より) 資料：FAO「Fishstat (Capture production)」、農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

水産資源の利用

- ・FAOによれば、世界の水産資源の状況は悪化しており、満限利用状態が53%、過剰利用または枯渇状態の資源は32%となっており、適度な利用状態の資源は15%しかありません。
- ・今後、このような傾向が継続すれば、水産資源は枯渇に近づき、増加する世界の水産物需要を支えられない恐れがあります。

●海洋水産資源の利用状況



(水産庁平成22年度水産白書より) 資料：FAO「The State of World Fisheries and Aquaculture (SOFIA) 2010」

日本周辺の資源状況

- ・日本における資源水準の状況は、低位水準にあるものが4割と良好とは言えませんが、近年低位の割合が減少し、中位の割合がやや増加しています。

平成23年度

資源水準に応じた魚種

低位（数が少なくなっている魚）

マイワシ、ニシン等

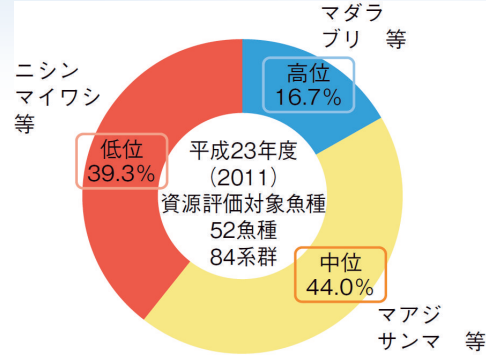
中位（数があまり変わっていない魚）

マアジ、サンマ等

高位（数が増えている魚）

マダラ、ブリ等

●我が国周辺水域の資源水準の状況（平成23年度）
及び資源水準の推移



（水産庁平成23年度水産白書より
資料：水産庁・（独）水産総合研究センター「我が国周辺水域の漁業資源評価」等）

